

対象	小学校高学年以上
教科	社会科・総合
該当 単元	〈小学5年〉 「わたしたちの 生活と環境」 ・ 自然災害を防ぐ 「わたしたちの国土」 ・ 国の地形の特色と 人々のくらし
教科書	東京書籍等
掲載日	2014. 4. 24. 朝刊 12 版 3 面

問 1 : いろいろな地図記号を作っているのは、どこでしょう。

( )

問 2 : 今回の新地図記号は、何年ぶりの新作でしょう。

( ) 年ぶり

発展 :

ア : 緊急避難場所と避難所の両方の機能をあわせ持つ場所を何というでしょう。

( )

イ : アは、どんな場所を想定していますか。

( ) にある ( )

や、学校の ( )

ウ : その地図記号を調べてみましょう。



緊急避難場所 ▲

避難所 ▲

# ここに逃げて！ 新地図記号

地震や津波といった災害時にどこに避難すればいいか一目で分かるよう、国土地理院（茨城県つくば市）は「緊急避難場所」などの地図記号を新たに作り二十三日、公表した。地理院は基本的な地図・地形図を発行しており、これを基に作製される市販の地図にも表示される。

災害時に駆け込む「緊急避難場所」のほか、被災者がその後滞在する「避難所」、両方の機能を持つ「避難所兼緊急避難場所」の地図記号を作った。津波が及ばない高台にある建物や、学校の体育館を想定している。洪水や津波、土石流などを意味する災害の記号と組

み合わせて使用し、どの災害の時にどこに逃げればいいのか分かるようにする。国土地理院は「住民が最寄りの避難所をあらかじめ地図で把握するのに役立ててほしい」としている。

全国の市町村は、東日本大震災後に改正された災害対策基本法に基づき緊急避難場所などを指定する作業を進めている。市町村から指定の連絡があれば順次、国土地理院のホームページ上の地図に記号を加える。これまでも日本工業規格による「広域避難場所」「津波避難ビル」などの記号があり、道路上の標識で示されている。地理院の記号は、混乱を招かないようそれらにデザインを似せたという。

地理院の新たな記号は二〇〇六年に「風車」などを追加して以来。